

風のひろば

July
2026

vol.28

佐賀関火災での支援活動

小学生対象公開講座

「キッズナースになろう！」の開催

大学の今

- ・ 看護師・助産師・保健師国家試験結果
- ・ 国際看護学修プログラムの開始
- ・ 特殊詐欺の未然防止

新任教職員のご紹介

退職教員のご紹介

研究紹介

トピックス

看護学実習を終えて

卒業生・修了生インタビュー



佐賀関火災での支援活動について

令和7年11月18日に大分市佐賀関で発生した大規模火災において、被害に遭われた皆様やそのご関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

復興に向けた日々であるかと拝察しますが、本学のNPコース2年であった学生たちが見た佐賀関の地域の結束や大分県内外の強力な連携の経験をご紹介します。

NPコース2年の4名は、社会医療法人関愛会佐賀関病院でNP実習の12週目で、火災当日の行政の支援が入る前の避難所設置から支援を開始し、発生から4日間、日中の支援活動を大屋院長の指示のもとで実施しました。学生4名は、二次救急病院の救急外来から介護医療院まで備えたケアミックス型などの病院の勤務経験を有し、急性期から慢性期までの分野に強みを持っている学生たちでした。

火災発生後、事実確認をしながら医師の指示のもとに避難所の設営支援、避難される方々に対して、医師とともに持参薬や健康状態のアセスメントをいち早く実施しました。被災者の皆さんや医師・地域の方々と連携しながらまずは当日の避難所の環境を整えていき、健康管理とともに緊急性の判断や生活を整えるケアを実施しました。2日目以降も医師の指示のもと、避難者の生活を観察し、血栓予防の呼びかけを自律的に行い、その他も健康状態の確認から重症化の早期発見と医療につなぐ支援をしました。指示されたことだけでなく、気が付いた環境整備の状況などを医師や保健師、各種団体と共有・協働し、日々変化する避難所の状況を把握しながら、学生として役割の明確化と個人が持つスキルを活かす行動をしていました。

総 括

- ① 支援初期から「命を守る」だけではなく、「生活の支援」という視点に立ち、生活や環境を関連付けながら支援体制に繋げていけるタイムリーな実践をしました。
- ② 看護の視点で、変化する現場の事実を捉え課題を見つけ出してチームでの自分たちの役割を考えた能動的な自律した看護と支援行動は、混乱を極める待たなしの刻々と動く避難所で調整力を発揮し、スピーディに行動化されていました。
- ③ 変化する避難者の状況と支援体制に柔軟に適応し、高度看護実践者としての健康状態のアセスメントと迅速行動・タイムリーな医師への報告と連携による異常の早期発見と搬送の判断、事象の全体(避難者の健康や生活環境・支援体制など)をアセスメントする力を発揮しました。
- ④ 共同生活を強いられた環境や災害による心身のダメージを配慮した倫理的な問題に対する感受性を高めていました。
- ⑤ 支援チームだけでなく、共助の強みを持つ地域性の理解と協働、優れたコミュニケーション能力によるチームワークで支援する力を発揮しました。
- ⑥ 学生としての毎日の記録から実践を振り返り、避難所で次々に起こる課題に取り組もうと努力し、災害対応訓練・緊急時の地域連携・倫理的意識決定支援のスキルの重要さを感じていました。
- ⑦ 避難所と佐賀関の地域特性、医師や行政・支援団体の姿から、目の前の命を守る急性期的視点とその後の地域生活を再構築するコミュニティ・ケアの視点の支援というその先を見据えた支援の在り方を学んでいました。

佐賀関火災での支援活動について

実習を担当した医師の視点より



発災直後の避難所では、医療・保健・衛生面での迅速な支援が求められました。当院で実習中だった学生たちは、混乱する現場でも自ら考え行動し、被災者への声かけや健康観察に積極的に関わってくれました。その姿に、NP教育が培う実践力と協働の力を強く感じました。この場をお借りして、送り出してくださった大学ならびに関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

佐賀関病院 院長 大屋 譲

やわらかな**心**に、小さな**タネ**をまく 小学生のための看護の おしごと体験

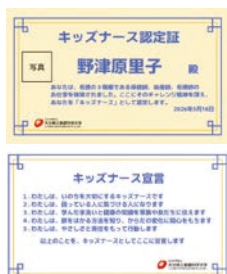


キッズナースになろう！

去る5月16日、若葉祭でにぎわうキャンパスにて、「小学生のための看護のおしごと体験—キッズナースになろう！—」を初開催しました。これは、地域の小学生向けに、看護師・保健師・助産師の3つの看護職の仕事を体験してもらい、子どもたち自身が周囲の健康に目を向けるとともに、将来のキャリアを思い描ききっかけになることを目的とした、初の試みです。

当日は、大分市内から12名の小学生とそのご家族にご参加いただきました。ナース服に身を包んだ子どもたちは、開講式と看護師・保健師・助産師それぞれのお仕事についてのミニ講話を受けた後、グループに分かれて、お仕事体験へと向かいました。

看護師体験ブースでは、心臓や血液循環の仕組みについて説明を受けた後、脈拍の測定や聴診器を使っての心音聴取に挑戦。保健師ブースでは手洗いを、助産師ブースでは赤ちゃん抱っことおむつ交換を体験しました。最初は少し緊張した面持ちの子どもたちでしたが、体験が始まるとその表情は一変し、真剣に取り組むまなざしがとても印象的でした。閉講式では、参加者一人ひとりに「キッズナース認定証」と大学グッズが手渡され、晴れやかな笑顔と温かい拍手の中イベントは終了しました。



認定証

参加した子どもたちからは、「心臓の音がちゃんと聴こえてうれしかった！」、「手をあらうときにゆびをきれいにあらいたい」、「看護の仕事ってこんなことがあるんだと思った」、「じょさんしになろうと思った」との声がありました。また、保護者からも「将来の選択に役立ってほしい」、「この大学で学ばせたいと思った」などうれしい感想が寄せられました。

今回の企画は、広報・公開講座委員会を中心に、地域看護学研究室、母性看護学研究室の全面的な協力のもと実施されました。

早期キャリア教育が注目される今、病院ではなく「大学のキャンパス」で体験を行うことには大きな意

味があります。緑豊かなキャンパスでナース服をまとい、本物の施設に触れ、大学という場所を肌で感じることは、単なるお仕事体験に留まらず、子どもたちがその先にある「学び(進学)」や「未来(就職)」という具体的なキャリアパスを五感を通じて意識するきっかけになると考えます。

地域の子どものやわらかな心に、命と健康を大切にする小さなタネをまく——。本学のミッションである「人と社会の“Well-Beingな未来”をともに拓く」の実現に向けて、これからも大学ならではの活動を続けてまいります。

看護師体験



保健師体験



助産師体験



大学の今

看護師・助産師・保健師国家試験結果

2026年3月20日、第115回看護師国家試験の合格発表が行われました。全国の合格率が88.3%と、過去10年間で2番目に低い水準となる中、本学の合格率は97.7%でした。合格した卒業生たちは看護師免許を手に、それぞれ新たな道を歩み始めています。

本学の国家試験対策は、学生主体で運営されていることが特徴です。合格した先輩たちは、2026年度の学生国試委員6名へ、おすすめの学習方法や生活リズムの整え方などを引き継ぎました。また、模擬試験の年間スケジュール調整や国家試験ガイダンスの企画、参考書の選定、試験当日のバス手配なども、先輩たちの助言を受けながら学生たちが運営しています。

このような「先輩から後輩へと継承する文化」は、本学の大きな強みです。

今年度の国家試験ガイダンスの表紙には、「一番いけないのは、自分なんかだめだと思ひ込むことだよ」という『ドラえもん』のび太の言葉が掲げられています。受験生たちは全員合格を目指し、日々学習に励んでいます。教職員一同、応援しています。



国際看護学修プログラム開始について

「国際看護学修プログラム」が本格的に始動しました。新学期に先立ち、海外研修実施に向けて教員2名がオーストラリア・シドニーを訪問し、研修先となる高齢者施設や語学学校、近隣大学を視察しました。

現地の高齢者施設では、多様な文化的背景をもつスタッフが協働しながら高齢者ケアを提供しており、学生が日本との制度やケア文化の違いを学ぶ貴重な機会となることを再確認しました。また、現地受入れスタッフ等との意見交換を通して、研修や国際交流に関する新たな連携の可能性も広がっています。

8月には4年次生2名がオーストラリアで海外研修を行う予定で、事前学習に取り組んでいます。本学での学びを通して、地域を大切にしながら世界ともつながる看護職へ成長してくれることを期待しています。



今年研修予定の4年次生



学生研修先 高齢者施設 Lansdowne Garden



Australian Catholic university, University of Sydney

特殊詐欺を未然に防ぎました

学部2年次生の島村優月さんが、アルバイト先のコンビニエンスストアで特殊詐欺を未然に防ぎ、警察から感謝状が贈呈されました。

令和8年4月3日、アルバイト先に高額ギフトカードを求め、高齢男性が2度来店しました。不審に思った島村さんがお話を伺うと、男性はカードの用途を理解しないまま購入しようとしており、「詐欺に違いない」と直感したそうです。

島村さんはすぐにアルバイト仲間と相談し、男性に購入を思いとどまってもらうとともに警察へ通報し、見事に被害を防ぎました。

勇気ある声かけと、周囲と連携した冷静な判断力は、社会問題となっている詐欺被害の防止に大きく貢献する、他の学生の模範となる素晴らしい行いです。



Information [お知らせ]

「未来応援基金」ご寄附のお礼とお願い

「未来応援基金」は、大分県立看護科学大学創立20周年を契機に、学生の学業の継続や地域との連携、国際化・グローバル化への対応等、学生・大学院生の活動を支援するために設置された基金です。

ご賛同いただいた皆様の温かいお心遣いに感謝申し上げます。いただいた貴重な寄附金は、大切に活用させていただきます。今後とも本校への応援をよろしくお願いいたします。

令和7年度寄附金額

合計 38,000円 平成30年度～令和7年度までの累計額：5,905,000円

寄附者のご紹介

令和7年度にご寄附をいただいた方で、掲載にご同意をいただいた方を紹介いたします。

個人(4名) ●瀬川 洋子 様 ●藤内 美保 様 ●海外 賢史 様 ●三島 七海 様

確かな看護の力で地域の保健医療を牽引し、より良い社会を創造する看護職を育成するために、皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

使 途

皆さまからいただいたご寄附は、学生・大学院生の支援のため、下記事業に活用させていただきます。

- (1) 学業の継続(奨学金の給付、授業料等の減免等)
- (2) 地域連携(地域貢献活動への支援、地域の保健医療機関での研修支援、自治体・地域・企業と連携した研究教育等)
- (3) 国際化・グローバル化への対応(短期留学、国内外での活動、研修派遣等)
- (4) その他、基金の目的達成に必要な学生・大学院生の活動支援

寄附金額

金額は特に定めておりませんが、1口1,000円として何口でも可能です。基金の趣旨にご賛同くださる方ならどなたでもご寄附いただけます。

ご寄附の方法

大学ホームページ(<https://www.oita-nhs.ac.jp>)掲載のフォームからお申し込みいただくか、本学事務局まで電話にてご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

大分県立看護科学大学未来応援基金事務局(大学事務局総務グループ内)
TEL : 097-586-4300(代表) FAX : 097-586-4370
E-mail : somu@oita-nhs.ac.jp

新任教職員のご紹介



成人看護学研究室 助教 吉田 嘉子

私は4月から成人看護学研究室に着任いたしました。看護師として20年以上、急性・重症患者看護専門看護師として10年病院で働いてまいりました。看護師として経験した看護の楽しさややりがいを今度は教員の立場からお伝えしていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



基礎看護学研究室 助手 後藤 壮登

4月に基礎看護学研究室に着任いたしました。本学の卒業生であり、卒業後は看護師として大分県内の総合病院に勤務しておりました。これまで経験してきた看護実践の魅力ややりがいを学生の皆さんにお伝えするとともに、私自身も新しい環境で皆さんと共に学び、成長していけることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。



地域看護学研究室 助教 高木 優衣

4月に地域看護学研究室に着任いたしました。これまで行政保健師として、たくさんの地域住民の方から学ばせていただきました。教員としての勤務は初めてですが、今度は学生のみなさんと一緒に学びを深め、地域看護の楽しさを伝えたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



精神看護学研究室 助手 外池 桃子

回復期・地域包括ケア病棟、手術室、精神科急性期病棟、保健所にて勤務を経験しました。精神科看護の魅力や難しさ、これからの看護について学生の皆さんと共に学び、成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



健康情報科学研究室 准教授 野津 昭文

前職では臨床研究に従事し、研究計画の立案、データ解析、論文執筆に携わっていました。本学では、生物統計学の理論から応用まで、分かりやすくお伝えできればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



助産学研究室 助手 植木 美穂子

4月に着任し、主に助産学教育に従事します。4期生で卒業後、産科開業医で助産師として20年以上勤務していました。経験してきた母子を取り巻く様々な事から最新の知識と照らし、教育の場に活かしたいと思っています。



事務局長 渡邊 康弘

4月に理事兼事務局長として着任しました。22年ぶりとなる本学での勤務に身の引き締まる思いです。教職員の皆様と力を合わせ、円滑な大学運営と学生生活のサポートに全力を尽くします。どうぞよろしくお願いします。



事務局総務グループ 副主任 添田 佑子

4月の人事異動で事務局の総務グループに着任しました。前職は、大分県の総務事務センターで給与や手当を担当していました。大学の業務は初めてで慣れない事が多いですが、教職員や学生のみなさんが、本学での充実した日々を送れるよう業務に取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



事務局財務グループ 主査 野中 一徹

4月の人事異動で、県庁産業人材政策課から事務局財務グループに着任しました。主に庁舎管理、経理の事務を担当します。学生の皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、微力ながら事務方として全力でサポートいたしますので、どうぞよろしくお願い致します。

同窓会「四つ葉会」より 総会・懇親会開催のお知らせ

日時：2026年10月24日(土) 19:00～
会場：レンブラントホテル大分 久住の間
＊詳細は、四つ葉会HP・SNS等でお知らせします。

令和8年度 理事会・経営審議会 委員一覧

〔令和8年7月1日時点〕

理事長	麻原 きよみ (大分県立看護科学大学 学長)
理事	福田 広美 (大分県立看護科学大学 学部長)
理事	稲垣 敦 (大分県立看護科学大学 研究科長)
理事	渡邊 康弘 (大分県立看護科学大学 事務局長)
理事(非常勤)	井原 健二 (大分大学医学部附属病院 病院長)
理事(非常勤)	宇都宮 徹 (大分県立病院 病院長)
理事(非常勤)	渡邊 規生 (富士甚醬油株式会社 代表取締役社長)

監事(非常勤)	村松 政幸 (公認会計士・税理士)
監事(非常勤)	中野 洋子
経営審議会委員	千野 博之 (弁護士)
経営審議会委員	吉村 充功 (日本文理大学 副学長)
経営審議会委員	小田 圭之介 (大分合同新聞社 取締役)
経営審議会委員	玉井 保子 (大分県看護協会 会長)

※理事長及び理事6名は経営審議会委員も兼ねる。

退職教員のご紹介

令和8年3月31日で退職された皆様です。
大変お世話になりました。
新天地でのご活躍を祈念いたします。

職名	氏名	職名	氏名
教授	関根 剛	教授	影山 隆之
教授	佐伯圭一郎	助教	妻木 美香
教授	梅野 貴恵		

メッセージご紹介



影山 隆之

開学から27年間勤務した本学を離れ、故郷の私立大学に再就職しました。いろいろな意味で異なる環境に置かれ、まだ学生の比較はよくわかりませんが、改めて本学教職員の強みがわかりました。本学の事務職員は優秀ですし、授業・入試・就職支援・国試対策・地域貢献など、何につけても一丸となって立ち向かうのが本学の強みです。これを今後も維持してほしいものです。



梅野 貴恵

令和8年3月をもって、多くの皆様にご指導・ご支援を賜り定年退職を迎えられましたことを心より御礼申し上げます。助産師養成課程を大学院化し、教員4人で試行錯誤しながらカリキュラムを運営し、研究活動では卒業生や修了生と学会で発表する貴重な経験のできた22年間でした。約200名の助産師学生に出会えたことは、大きな宝物になりました。卒業生・修了生の皆様のご活躍と貴学のご発展をお祈り申し上げます。

Research introduction



研究紹介

Redundancy test for some variables in linear discriminant analysis with two-step monotone incomplete data

(2-step単調欠測データに基づく線形判別分析における一部の変数に対する冗長性検定)

■研究テーマとその内容について教えてください。

本研究のテーマは、2-step単調欠測データを含む線形判別分析において、一部の変数が判別に寄与しない(冗長である)かどうかを評価する統計的検定法の開発です。具体的には、欠測を含む多変量正規分布データに基づいて尤度比検定統計量を導出し、さらにバートレット修正という手法を用いて、サンプルサイズが小さい場合でも検定のサイズ(誤って帰無仮説を棄却する確率)を適切に制御できる改良された検定手法を提案しました。シミュレーションの結果、提案手法は従来の尤度比検定よりも正確に有意水準を維持できることが示されました(図1)。

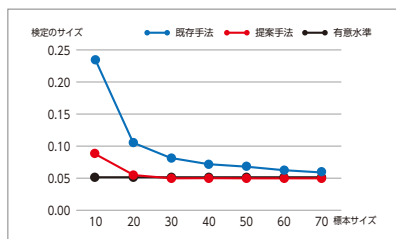


図1：シミュレーション結果

■現在の研究を始めようと思ったきっかけや、解決したい課題は何ですか？

社会科学や医学、疫学、看護学などの研究分野では、回答拒否や無回答、パネル調査からの脱落等さまざまな理由により、データの一部が欠落した「不完全データ」に直面することが頻繁にあります。こうした状況下でも、コスト削減のために不要な変数を削減(変数選択)することは重要ですが、欠測データに基づく判別分析における変数選択の問題は、これまで十分な議論がなされていませんでした。そこで、欠測が存在する現実的なデータセットに対しても、統計的に信頼性の高い変数

選択を可能にし、分析の精度と効率を両立させる手法を確立したいと考え、本研究に取り組みました。



健康情報科学研究室
助教 岡田 悠希

■先生の研究が、地域社会の中でどのように役立つと考えていますか？

この研究は、特に医療現場や大規模な社会調査において実用的な価値があると考えています。例えば医療診断において、患者への身体的負担が大きい検査項目を含むデータがある場合、本手法を用いることで「診断精度を落とさずに省略可能な検査」を統計的根拠を持って特定できます。これにより、患者さんの負担軽減や医療コストの削減に貢献できます。また、アンケート調査等で未回答(欠測)が生じた場合でも、貴重なデータを破棄せず有効に活用し、正確な分析結果に基づいた政策提言や意思決定をサポートできると考えています。

■この研究をどのように発展させていきたいですか？

今後は、今回提案した検定手法の性能をより詳細に評価するため、尤度比検定の漸近的な検出力関数を導出することを目指しています。また、今回は特定の変数群全体に対する検定を行いましたが、より柔軟な変数選択が可能となるような形式への拡張も検討しています。さらに、検定手法だけでなく、AIC(赤池情報量規準)などのモデル選択規準におけるバイアス修正等にも本研究の知見を応用し、欠測データ解析における包括的な変数選択法を構築していきたいと考えています。

■令和7年度の卒業式・修了式

3月18日、令和7年度の卒業式・修了式が執り行いました。式典では、学部1年生、大学院の修了生のひとりひとりに、麻原学長から学位記が手渡されました。

卒業生・修了生のみなさんのご活躍とご健勝を心よりお祈りいたします。



■令和8年度入学式



4月8日に入学式を執り行いました。学部1年次生84名、大学院博士前期（修士）課程30名と後期（博士）課程7名

の計121名が入学しました。新しい一歩を踏み出した学生の皆さんに、心からお祝い申し上げます。これからの大学生活が皆さんにとって素晴らしいものとなりますように。

■若葉祭



5月16～17日に若葉祭を開催しました。ステージや体験イベントで盛り上がる中、2日目の表彰式では、ステージで素晴らしいパフォーマンスを披露した学生に「学長賞」を贈りました。当日は約600名の方にご来場いただき、大盛況の2日間となりました。ご来場、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

■カナダで看護英語を学ぶ！ 短期海外研修へ

今夏、2年次生2名が大学の奨学金を

活用し、カナダ・アルバータ大学のサマースクールへ出発します。学生が主体的に計画した海外研修で、現地では看護英語を学びます。世界へ羽ばたく2人を応援しています！



■韓国ウルサン大学との 学生交流プログラムに参加する 学生が決まりました

毎年夏に双方向の短期研修を行っているウルサン大学との学生交流プログラムに参加する学生が決まりました。2年次生5名、3年次生2名、4年次生1名の計8名です。7月20日～24日の受け入れに向けて準備を進めています。

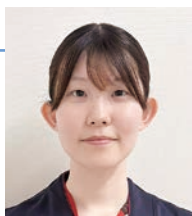


卒業生・修了生インタビュー

西別府病院 看護師 伊本 あすみ

私は2024年度に貴校を卒業し、西別府病院で2年目看護師として従事しています。当院では、主に神経・筋難病、重症心身障がい、結核の患者さんに対して医療を提供しており、私は神経・筋難病、重症心身障がい児（者）の方に日々看護を実践しています。言語的コミュニケーションをとることが難しい患者さんが多く、入職したばかりの頃は訴えを理解できず、患者さんを諦めさせてしまっていました。しかし、経験を重ねることですぐに汲み取れるようになったり、私を信頼して何度も根気強く伝えようとしてくださることが増えました。患者さんに信頼して頂けることがとても嬉しく、やりがいを感じています。

長期療養目的で入院されている方が多く、患者さんにとって病院での時間が生活そのものです。また、急性期病院と比較すると一人一人の患者さんと長く、深く関わる時間があるため、その関わりを通して患者さんの願いや思いを看護につなげられるようにしたいと考えています。患者さんが安心安全に、できる限り望む生活ができるような看護が提供できる看護師を目指し、これからも学んでいきたいと思っています。



看護学実習を終えて

私は、看護学実習を終えて、患者さんの強みを捉え、その強みを活かしながら関わることの重要性を学びました。特に3年次の成人看護学実習では、受け持ち患者さんの「自分で出来ることは自分でしたい」という思いや、スマートフォン操作が得意であるという強みを活かして看護介入を行うことで、患者さんの自己管理意欲の維持につなげることができました。

また、患者さんの価値観や生活背景を理解し、その人らしさを大切にしながら関わることは、退院後の生活を支える看護につながることを学びました。

実習を通して、看護職は患者さんの人生に触れることができる素敵な職業だと実感しています。これまでの実習で学んだことを活かし、これからは患者さん一人ひとりの思いに寄り添い、その人らしい生活を支えることのできる看護師を目指していきたいです。

4年次生 原岡 愛



大分県立看護科学大学後援会からのお知らせ

後援会長より学生へ

【応援メッセージ】

大分県立看護科学大学の後援会会長として、また皆様と同じ道を志した先輩、一人の親、そして教育の場で奮闘する同志として、エールを送ります。



後援会長 大石 勉

私は高専卒業後、民間企業に在籍している際、阪神・淡路大震災を経験し、25歳で看護の道を志しました。30歳で免許を取得し、臨床を経て、現在は看護教育の現場で20年ほど教鞭を執っています。日々、看護師や医療職を目指す学生たちと向き合う中で感じるのは、医療の道は「学びがそのまま誰かの救いになる」という尊さです。

医療現場は決して一人では成り立ちません。看護、リハビリ、検査など、異なる専門性を持つ仲間が尊重し合い、連携する「チーム医療」が不可欠です。本学で共に学ぶ仲間は、将来の良きパートナーとなります。互いの個性を認め合い、切磋琢磨してください。

壁にぶつかった時は、一人で抱え込まないでください。私たち後援会は、親心を持って皆様を支え、その挑戦を全力でバックアップします。皆様がここで育む「確かな技術」と「揺るぎない志」は、必ず日本の医療の未来を照らす光となります。

夢に向かって、自信を持って一歩ずつ進んでいきましょう。

看護ひとくちメモ



ヘッドホン難聴(イヤホン難聴)について

ヘッドホンやイヤホンで大きな音を聞き続けていることに、心当たりのある方は、ご注意ください。

《ヘッドホン難聴(イヤホン難聴)とは》

ヘッドホンやイヤホンで大きな音を長時間連続して聞き続けることによって、聞こえにくくなったり、耳鳴りや耳が詰まった感じがしたりすることを、ヘッドホン難聴(イヤホン難聴)といいます。音の振動を脳に伝える役割を持つ有毛細胞が傷ついてしまうことが聴力低下の原因です。少しずつ進行していくため自覚しにくく、失った聴覚は戻りません。



《ヘッドホン難聴(イヤホン難聴)の予防》

- 可能な限り音量を小さくする
WHOの推奨する限度は、大人は80dB以下、子どもは75dB以下、1週間に最大40時間(1日約5時間半)
*80dB：走行中の電車内、ゲームセンターの店内
- 音量を上げ過ぎないために、遮音性の高いヘッドホン(イヤホン)を使う
- 音量と視聴時間をモニターして、長時間の使用を避ける
- 少なくとも1時間に1回、10分程度は耳を休める

ヘッドホンやイヤホンは、音楽鑑賞やゲームのみでなく、オンライン会議やオンライン授業など、さまざまな場面で使用する機会があります。難聴を防ぐためにも、日頃から耳に負担をかけない生活を心がけましょう。

看科大[28号]クイズ・プレゼント

問題

今回、小学生を対象に開催された大人気の公開講座のタイトルは、「キッズ〇〇になろう!」

〇〇の中に正しい文字を入れ、下記のとおりハガキでご応募いただくか、クイズの答えなど1~5までを記載して、メール(koho@oita-nhs.ac.jp)でご応募ください。

正解者の中から抽選で3名様に図書カード(2,000円分)をプレゼントします。

郵便はがき 8701201 大分県立看護科学大学事務局 行	1. クイズの答え 2. 郵便番号 3. 住所 4. 氏名(年齢) 5. 記事へのご感想や 本学へのご意見
--	--

【締め切り】令和8年8月31日 当日消印有効

当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

Schedule [スケジュール]

7月	11日(土)	オープンキャンパス
	20日(月)~24日(金)	韓国ウルサン大学との学生交流プログラム 学生受入 大学院特別選抜試験 (広域看護学・助産学・NP・NP 資格審査)
	15日(水)	
8月	16日(木)	夏季休業
	~9月2日(水)	
	21日(火)~31日(金)	小児看護学(保育所)実習
	17日(月)~21日(金)	韓国ウルサン大学との学生交流プログラム 学生派遣 大学院入学試験
	24日(月)	大学院研究中間報告会
9月	26日(水)	大学院研究計画報告会、論文レビュー報告会
	27日(木)	
	28日(金)	老年看護学実習、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習
	~11月20日(金)	
	12日(土)	公開講座
10月	24日(土)	ホームカミングデー、第28回看護国際フォーラム
11月	21日(土)	学校推薦型選抜試験および一般選抜試験(社会人)
	24日(火)~30日(月)	地域看護学実習(3年次生)
12月	1日(火)、2日(水)	卒業研究発表会
	7日(月)~21日(月)	看護アセスメント学実習
	24日(木)	冬季休業
	~1月7日(木)	

※スケジュールは、変更になる場合があります。